

6.適用範囲概要（詳細は認定書を確認してください）

(単位：mm)

床・壁構造	床(ALC・コンクリート)	壁(ALC・コンクリート)／中空壁	
国土交通大臣認定番号	PS060FL-1167	PS060WL-1166	
床・壁厚さ	100 以上		
開口部	形状 円形(φ258 以下)		
占積率 (開口面積に対する配管・ケーブルの断面積の総合計の割合)	複数配管の場合 61.4% 以下 単管の場合 82.7% 以下		
埋戻し材	モルタル		
配管	金属管	サイズ	外径φ66.68 以下(複数配管を貫通する場合、φ53.98 以下)
		材質	鋼管(JIS H 3300、JIS H 3320)
			ステンレス鋼管(JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459)
	被覆金属管	サイズ A	上記、金属管の外径φ66.68 以下(複数配管を貫通する場合、外径φ53.98 以下)
		材質(被覆)	ニトリルゴム系、グラスウール、ロックウールの場合、外径φ200 以下 被覆厚 65 以下 (複数配管を貫通する場合、外径φ157 以下 被覆厚 50 以下)
			エチレンプロピレンゴム系の場合、外径φ196 以下 被覆厚 63 以下 (複数配管を貫通する場合、外径φ157 以下 被覆厚 50 以下)
	サイズ B	上記、金属管の外径φ25.4 以下	
	ケーブル	総導体断面積	114mm ² 以下
		外径	φ25 以下
	ポリブテン管(※)	サイズ	外径φ114 以下
		材質	ポリブテン管(JIS K 6778)
	被覆ポリブテン管(※)	サイズ	内管のポリブテン管の外径φ114 以下
材質(被覆)		発泡ポリエチレン系、発泡架橋ポリエチレン系、発泡ポリウレタン系、発泡ポリスチレン系、発泡ポリプロピレン系、発泡フェノール系、発泡難燃ポリオレフィン系、発泡合成ゴム系(ブチルゴム系)の場合、外径φ155 以下被覆厚 20 以下	

※ 単管貫通のみ。(複数配管の貫通は、適用外)



高断熱配管・大口径配管の防火区画貫通部耐火措置工法部材

耐火テープ 冷蔵冷凍タイプ IRTZ

国土交通大臣認定：PS060FL-1167(床)／PS060WL-1166(壁・中空壁)

お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。


1.はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。

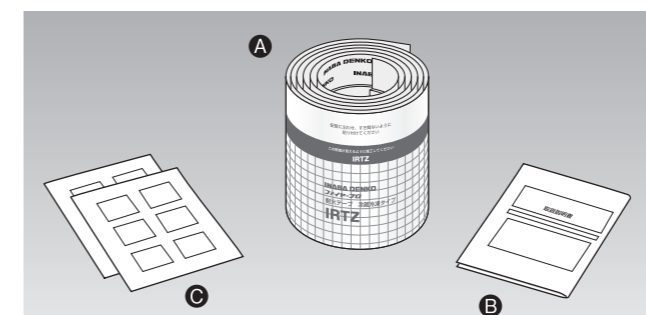
■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

警告	国土交通大臣認定書の仕様に基づき正しく施工してください。正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。国土交通大臣認定書については、右記のQRコードを確認してください。	
注意	作業時は、作業用手袋などを着用してください。	国土交通大臣認定書

お願い

- ※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。
- 耐火テープの粘着剤部が一度配管に貼付した場合(とくに被覆のニトリルゴム系、エチレンプロピレンゴム系)、貼り直しができなくなりますので、注意して、配管に貼り付けてください。
 - 区画貫通部では配管などが動かないように近傍でしっかり固定してください。不十分な場合は耐火テープが破れたり、すき間や空洞が発生するおそれがあり、耐火性能が発揮できません。
 - 貫通穴は、占積率を満たす大きさがあり、耐火テープが設置できるスペースを確保できる位置に開けてください。
 - 耐火テープは、分解などせずにそのまま切断して使用してください。また破損した耐火テープは使用しないでください。
 - 耐火テープの長さが不足した場合は、同じ製品(IRTZ)を用意し養生テープなどですき間が生じないように貼り合わせてからご使用ください。
 - 中空壁施工の場合、中空壁用鋼製スリーブ(推奨製品:弊社EZS)を使用し、必要に応じて壁厚寸法に切断してください。
 - 屋外で使用する場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。

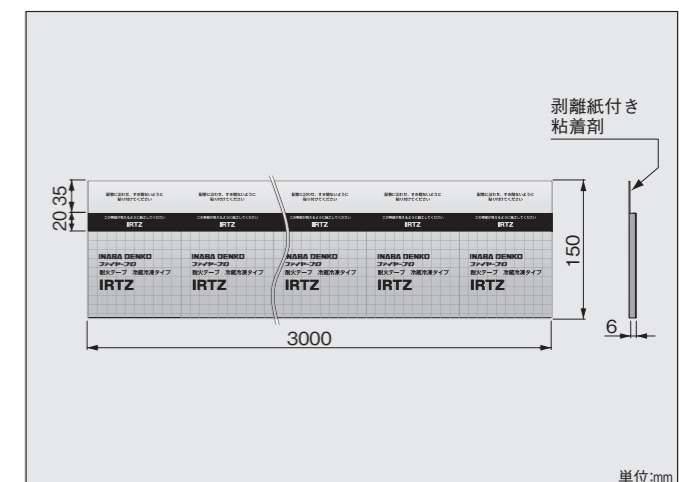
2.セット明細 (各部名称)



■ セット内容

記号	部品名	数量
A	耐火テープ 冷蔵冷凍タイプ IRTZ	1
B	取扱説明書	1
C	国土交通大臣認定品表示シール	2シート(12枚)

3.製品仕様



因幡電工カンパニー
因幡電機産業株式会社

詳しくはウェブサイトをご覧ください
<https://www.INABA-DENKO.com/> (最新情報や技術資料など)
<https://www.INABA-DENKO.com/ja/network> (営業窓口)

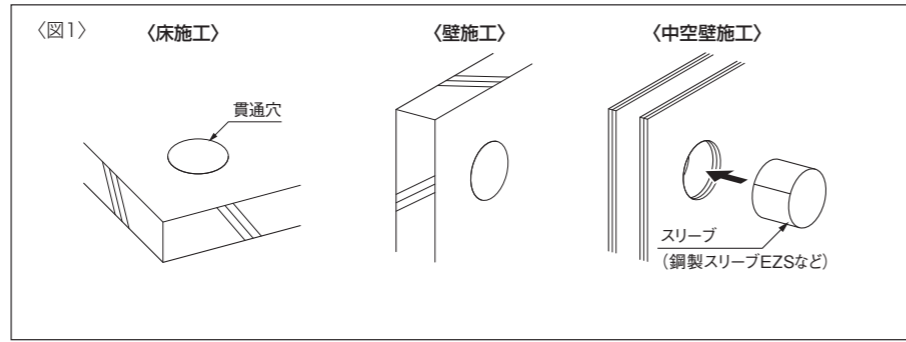
INABA DENKO
動画チャンネルはこちら ▶▶



20211210

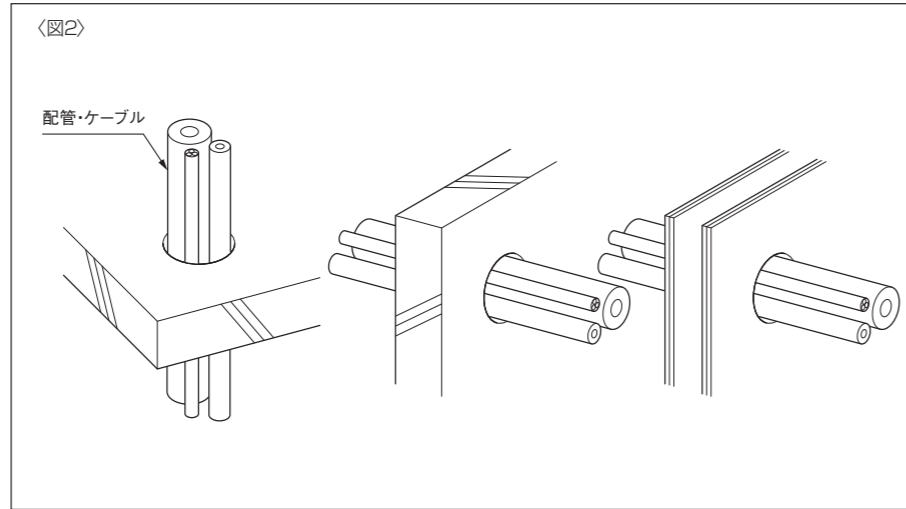
1. 貫通穴を設ける

認定書の最大開口径および占積率を考慮し貫通穴を設けてください。
中空壁の場合は、厚さ0.25mm以上の金属スリーブ(弊社製品「鋼製スリーブEZS」など)または金属板を挿入してください。〈図1〉



2. 配管・ケーブルの設置

配管・ケーブルを設置し、支持・固定します。〈図2〉

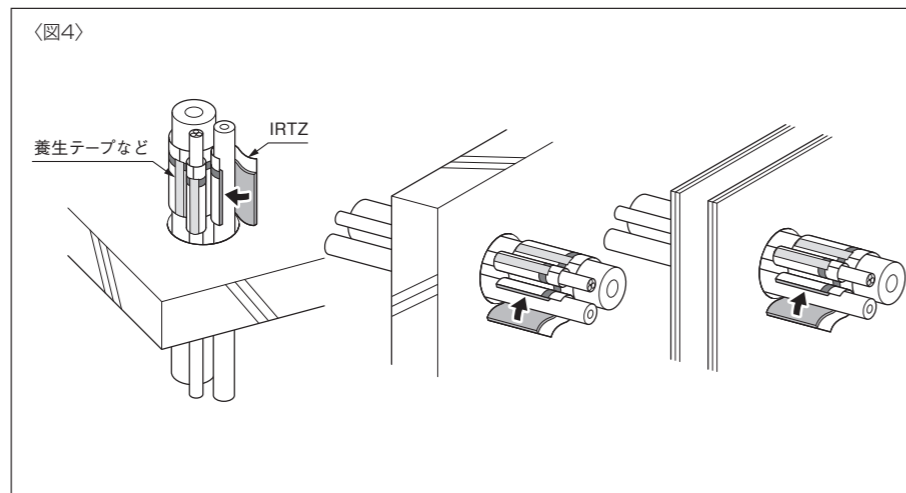
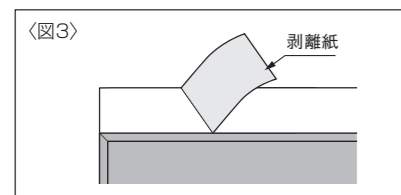


3. 耐火テープ 冷蔵冷凍タイプ IRTZ (以下IRTZと称す) の巻き付け

IRTZを配管ごと(ケーブルは1本<1条>)に1周以上巻き付けられる長さに切断し、剥離紙を剥がし〈図3〉配管に巻き付け養生テープなどで固定します。〈図4〉

※剥離紙に耐火材がのっている場合、引き離しながら剥離紙を剥がしてください。

※配管に巻き付ける際、被覆材を潰すように巻き付けるとスライドしにくくなりますので注意してください。

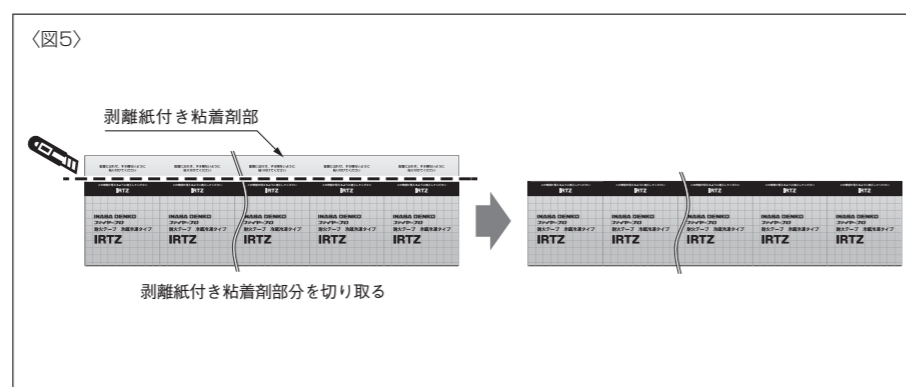


① <裸金属管の場合>

裸金属管は認定上貫通可能ですが、IRTZおよびモルタルに直接接触すると悪影響を及ぼす可能性があります。直接接触ないように区画貫通措置部の裸金属管には被覆してください。
被覆材はP4の「適用範囲概要」で確認してください。

② <被覆なしのポリブテン管の場合>

IRTZを直接巻き付ける場合、剥離紙付き粘着剤部分を切り取り、1周以上巻き付けたIRTZを養生テープなどで仮固定します。〈図5〉



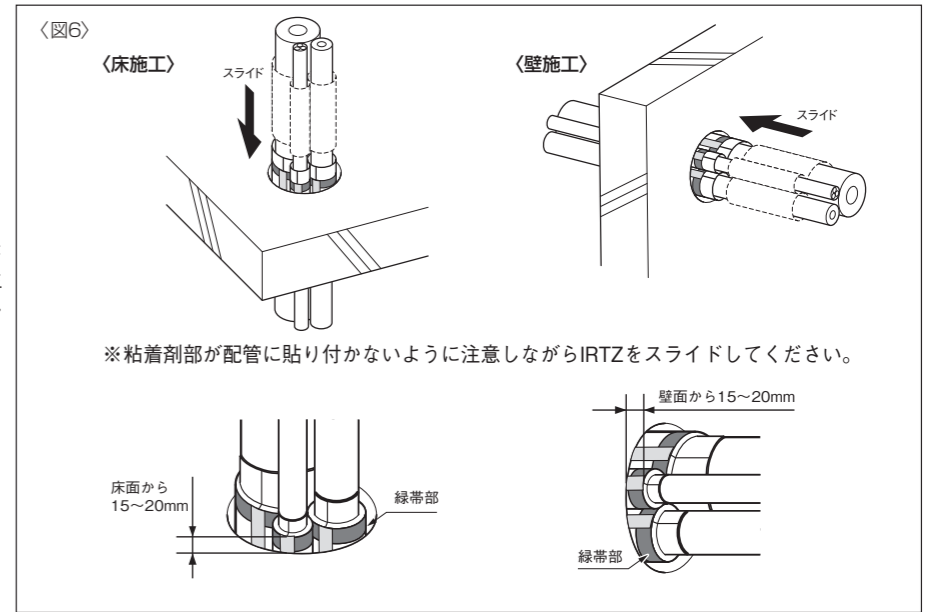
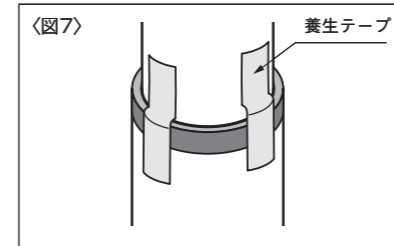
4. IRTZの設置

緑帯部が見えるように(膨張材が15~20mm飛び出る)IRTZをスライドさせ、配管にすき間が生じないように粘着部を貼り付けてください。〈図6〉

※粘着剤部が配管に貼り付かないように注意しながらIRTZをスライドしてください。

③ <被覆なしのポリブテン管の場合>

剥離紙付き粘着剤部分を切り取っているため、配管からIRTZがズレ落ちないように養生テープなどで配管を仮止めしてください。〈図7〉



※粘着剤部が配管に貼り付かないように注意しながらIRTZをスライドしてください。

5. モルタルの埋め戻し

必要に応じて裏面にあて板やフタ※(弊社製品「アルミタフパットATP」など)を設置し、配管・ケーブルのすき間にモルタルを100mm以上密に充てんしてください。〈図8〉

※フタの材質:アルミニウムは張ポリエチレンフォーム(アクリル樹脂系粘着剤あり)

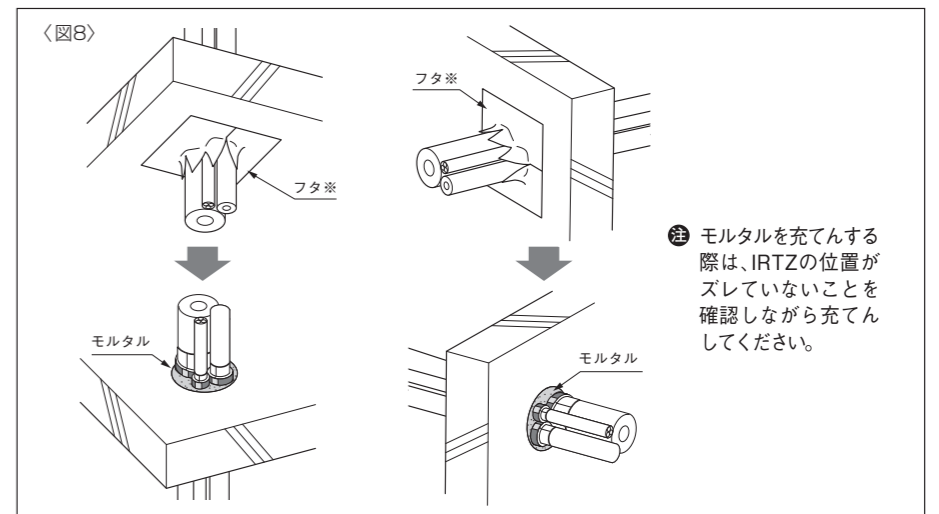
※フタの最大寸法:400mm×400mm×3mm

④ <裸金属管の場合>

裸金属管がIRTZおよびモルタルと直接接触していないことを確認してください。

⑤ <被覆なしのポリブテン管の場合>

IRTZがズレない所までモルタル充てんしたら、仮止めしている養生テープなどを外しモルタルを100mm以上密に充てんしてください。〈図9〉



⑥ モルタルを充てんする際は、IRTZの位置がズレていないことを確認しながら充てんしてください。

6. あて板の除去

あて板の場合は、モルタル乾燥後外してください。

※手順5の条件のフタ、ATPの場合であれば、外さなくてもよい。〈図10〉

⑦ <中空壁の場合>

区画貫通部でATPを両側に貼り付け、配管などが動かないように近傍でしっかり固定してください。鋼製スリーブが動くおそれがあり、耐火性能が発揮できません。〈図11〉

